

山西利和選手が第109回日本陸上競技選手権大会 男子ハーフマラソン競歩にて世界新記録で2連覇 ～4位 丸尾知司選手も世界記録基準を上回り健闘～

愛知製鋼陸上競技部（監督：渡邊聡）所属の山西利和選手と丸尾知司選手が、2月15日（日）に兵庫県にて開催された「第109回日本陸上競技選手権大会」の男子ハーフマラソン競歩に出場し、山西選手が1時間20分34秒で優勝しました。これにより愛知・名古屋2026アジア競技大会の日本代表に内定しました。

山西選手と丸尾選手は序盤から先頭集団をけん引し、優勝争いを展開しました。残り5km付近で山西選手がペースを上げ、持ち前の力強い歩きでゴールし、世界記録基準を56秒上回る好タイムで優勝しました。山西選手は昨年の20kmに続き、2年連続の日本選手権制覇となりました。

丸尾選手は、ハイペースのレースを粘り強く歩き抜き、世界記録基準を上回る1時間21分25秒で4位入賞。今後の代表選出に向けた大きな一歩となりました。

愛知製鋼陸上競技部では、今後も更なるチーム力強化を推進し、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしてまいります。

山西選手 コメント

日本選手権の応援ありがとうございました。
おかげさまで、優勝することが出来ました。
今回のレースから得たものを生かし、より良いものを目指してここからのシーズンへと繋げていきたいと思っています。

丸尾選手 コメント

たくさんの応援本当にありがとうございました！
16回目の日本選手権で好記録を出せたことを嬉しく思います。
多くの方に支えられ歩ける幸せを胸に、感謝を力にまた挑戦を続けます。



山西選手(右)と丸尾選手(左)

【参考】

・山西利和選手、丸尾知司選手 プロフィール
[選手・スタッフ紹介 | 愛知製鋼陸上競技部 \(aichi-steel.co.jp\)](https://aichi-steel.co.jp)